

2023年6月14日
SCSK株式会社

SCSK、インパクト投資ファンドへ出資を決定 ヘルスケア領域の事業推進を図る

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、東京ウェルネスインパクト投資ファンド(以下 本ファンド)への出資を決定いたしました。本ファンドへの出資を通じて、ヘルスケア～セルフケア領域での事業創出の更なる促進を図っていきます。

1. 出資の目的

SCSKはグループ成長戦略として「サステナビリティ経営」を推進し、社会課題の解決による持続的な事業成長を目指しています。中期経営計画にて社会課題の解決をリードする『次世代デジタル事業』の創出を掲げ、重点領域の1つとしてヘルスケア～セルフケア領域を位置付けております。同領域では既に患者中心の医療コミュニケーションプラットフォーム「Dr2GO」*1 を活用した事業創出に取り組んでいますが、本ファンドへの出資を通じて、スタートアップ企業との共創などによる事業機会探索を進め、『次世代デジタル事業』の創出を加速します。また、インパクト投資の手法であるインパクト測定・マネジメント(IMM)*2 を活用し、当社事業の社会的価値の可視化やその評価・改善を進め「サステナビリティ経営」を推進します。

*1 医療現場の声から生まれた医療従事者向け SCSK オリジナルの DX ソリューション
Dr2GO 製品サイト: <https://www.scsk.jp/sp/dr2go/>

*2 Impact Measurement and Management。インパクト投資において、社会的・環境的な問題解決に向けた目標(インパクト)を定め、その目標を達成するための戦略を策定し、運営・評価を行うプロセス

2. ファンドの概要

社会全体としてのウェルネス領域への意識の高まりに対し、同領域での課題は多岐にわたっています。これらの課題解決に取り組むインパクト志向のスタートアップを支援し、財務的なリターンと社会的なリターンを創出することを目的とするインパクト投資を実践すべく、本ファンドは設立されました。

ファンド名:東京ウェルネスインパクトファンド

- ・目標ファンド組成額:100 億円
- ・投資対象:ウェルネスを投資対象領域としています。ウェルネスとは、身体的、精神的、社会的に健康で安心な状態(Global wellness Institute 2015)であると定義されていることから、具体的には、以下の4つの領域における国内の課題解決を図るスタートアップへ投資します。(図1参照)
- ・運用期間:2023年2月24日から2032年12月31日まで(10年間+5年延長)

図 1:東京ウェルネスインパクトファンドの投資対象領域 ※虎ノ門インパクトキャピタル合同会社提供



3. 虎ノ門インパクトキャピタル合同会社の概要

東京都のソーシャルインパクト投資ファンド事業において、運営事業者として採択。ウェルネス領域においてインパクト投資を実践する株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズとファンド運営体制が充実しているマネックスベンチャーズ株式会社との共同運営です。

株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ <https://capitalmedicaventures.com/>

マネックスベンチャーズ株式会社 <http://www.monexventures.com/>

SCSKグループの目指す『次世代デジタル事業』

SCSKグループ中期経営計画の基本戦略の一つに、「社会との共創による『次世代デジタル事業』の創出」を掲げています。SCSKグループマテリアリティを起点とした様々な領域において、従来とは非連続な『次世代デジタル事業』、社会への新たな価値創出をリードします。

・SCSKグループ中期経営計画(FY2023-FY2025)

https://www.scsk.jp/ir/management/mid_term.html

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK 株式会社

ビジネスデザイングループ

ビジネスデザイン統括本部 アライアンス戦略部 山本

E-mail: BDG-Alliance-fund-staff@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK 株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。